修理・点検・校正についてのよくあるご質問

●対象：2000 シリーズ全般

Q：”RTS シンゴウマチ”と出て操作を受け付けないのですが？

A：パソコンとの接続が確立されていない状態で、パソコンとの通信をする設定がされて

います。

解除方法：

2000 シリーズの場合の操作方法：ＳＩＦＴ→１→”シナイ”に記載されている番号

上記操作にて通信設定は解除されます。詳しくは取扱説明書をご覧下さい。

Q：測定データの変動や再現性（全くの同一試料を繰り返して測定した時データが相違す

る）に問題があるのですが？

●対象：ランプ交換可能機種

A：ランプの劣化が考えられます。

取扱説明書を参照していただき、製品指定のランプに交換して下さい。

電源を必ず切り、ランプ、製品本体が十分に冷えた事を確認してから交換を実施して下さ

い。

指定以外のランプを使用した場合、正確な数値が得られなくなるばかりか、

故障等予期せぬトラブルの原因になります。必ず製品指定のランプに交換して下さい。

●対象：標準板を使用する全機種

A：標準板に傷、汚れ等ないかご確認下さい。標準板に記載してある数値と製品に入力してある標準板の数値が同一であるかご確認下さい。

Q：プリンターが印字しない、印字される文字が擦れるのですが？

●対象：プリンター搭載機種

A：ロールペーパーの表裏を確認して下さい。

紙粉や埃等の影響が考えられます。

エアブロー又はブラシ等を用いプリンターヘッド部の清掃をして下さい。

Q：日常の点検はどの様にすればいいですか？

A：詳しくは取扱説明書内の日常点検リストをご参照下さい。

■パソコン用ソフトウェアについて

Q：Windows７ Windows8 Windows8.1には対応していますか？

A：ソフトウェア名：Color Mate Pro/Color Mate 5/Quick Get/WA Quick Get/NDH5000/NDH7000/VG7000 は対応しております。

Q：製品とパソコン間で通信出来ないのですが？

A：製品側の通信設定項目において通信する設定になっている事を確認して下さい。

ポート番号、ボーレート、ストップビット、パリティ等の詳細設定が製品とソフトウェア

側が同一の設定になっているかご確認下さい。

■WA6000について

Q：検量線をグラフで印刷する事ができますか？

A：WA6000 本体で検量線をグラフ表示することや印刷する事は出来ませんでしたが、

最新ソフトウェアプログラム（Ｖｅｒ3.00）ではグラフ機能が追加されております。

ファームウェアのアップデートをする事で印刷する事は可能です。

ファームウェアのアップデートは弊社にて一度お預かりして実施する事になりますので

ご要望が御座いましたらお問い合わせ下さい。

Q：検量線の直線性はどの程度ですか？

A：水質基準値である濁度2度、色度5度範囲の相関係数で0.9995～0.9999 です。

低濃度域でも再現性よく測定することが可能です。

Q：計算式の自動切り替え機能とは何ですか？

A：WA6000では近似直線式（回帰直線）と2次近似曲線式（又は折線式）による算出方法が選択出来ますが、これら2つの計算式を任意に設定した値を境に計算式を切り替えるという機能になります。

具体的には、設定した濃度値以下を近似直線式で計算し、それ以上の濃度になると自動的に2次近似曲線（又は、折線式、任意選択）の式によって算出します。

ひとつの検量線で、2つの計算式が任意に設定出来ますので、直線性の高い低濃度範囲を近似直線式で算出し、高濃度範囲を2次近似曲線（又は、折線式）で算出するということが可能になっております。

（出荷時設定値＝濁度2度、色度5度。＊設定値は任意に変更する事も可能です。）

■校正について

Q：標準板、製品の校正周期はどの位で行えば良いでしょうか？

A：製品の状態を最良に保つ為に1年に1回の定期的な校正を推奨させていただいております。

校正を実施する事により

○国家標準等の公的機関とのトレースを証明する事が出来る為、データ値の信頼性向上に繋がります。

○問題箇所の早期発見対応が可能になります。

○製品の性能維持を長期間保つことが可能になります。

等、メリットが多数ございます。

また、弊社ではお客様先への訪問による出張校正も可能です。

（ハンディタイプ等一部製品は除きます。詳細はお問い合わせ下さい）

また、お送りいただいた場合でもご希望により代替機等の用意も多数ございます。

お客様の業務に支障がない形でのご依頼が可能です。